

第127回定時株主総会決議ご通知

株主総会

2019年6月26日東京都渋谷区道玄坂二丁目10番7号新大宗ビル フォーラムエイト504会議室において第127回定時株主総会を開催し、次のとおり報告ならびに決議されました。

- 報告事項 1. 第127期
(2018年4月1日から2019年3月31日まで) 事業報告の内容報告の件
 - 2. 第127期
(2018年4月1日から2019年3月31日まで) 計算書類の内容報告の件
- 本件は、上記の内容を報告いたしました。

■ 決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本議案は、原案のとおり承認可決され、期末配当は1株につき金40円と決定いたしました。

第2号議案 取締役6名選任の件

本議案は、原案のとおり承認可決され、取締役として宇野澤虎雄、樋口勉、田村博、小楠雄士、石黒稔、上木原正記の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、上木原正記氏は社外取締役であります。

第3号議案 監査役2名選任の件

本議案は、原案のとおり承認可決され、監査役として最所敏明、西村賢の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

なお、西村賢氏は、社外監査役であります。

第4号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

本議案は、原案のとおり承認可決され、本総会終結の時をもって取締役を退任される、平栗良夫氏および関秀樹氏に対し、在任中の労に報いるため、当社の定める一定の基準に従い、相当額の範囲内において退職慰労金を贈呈することとし、その具体的な金額、贈呈の時期、方法等は取締役在任期間中は取締役会に、監査役在任期間中は監査役の協議にそれぞれご一任いただくことと決定いたしました。

会社情報

■ 会社概要

創業 1899年8月
設立 1933年12月15日
資本金 7億8千5百万円

■ 事業所所在地

本社・工場 〒146-0092 東京都大田区下丸子二丁目36番40号
電話 (03) 3759-4191 (代表)

大阪営業所 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田二丁目5番6号
(桜橋八千代ビル)
電話 (06) 6344-0747 (代表)

■ 営業品目

ロータリブロワ、ドライ真空ポンプ、水封式真空ポンプの製造販売

■ 役員 (2019年3月31日現在)

取締役会長 宇野澤 虎雄	取締役 関 秀樹
取締役社長 樋口 勉	常勤監査役 最所 敏明
常務取締役 田村 博	監査役 西村 賢
取締役 平栗 良夫	監査役 関本 明
取締役 小楠 雄士	

(注) 取締役関秀樹氏は、社外取締役であります。
監査役西村賢、関本明の両氏は、社外監査役であります。

株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所2部市場

公 告 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.unozawa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都内において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部が特別口座の口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問合せください。
3. 過年度の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2018年4月1日から2019年3月31日までの第127期の事業の概況を次のとおりご報告申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

樋口 勉

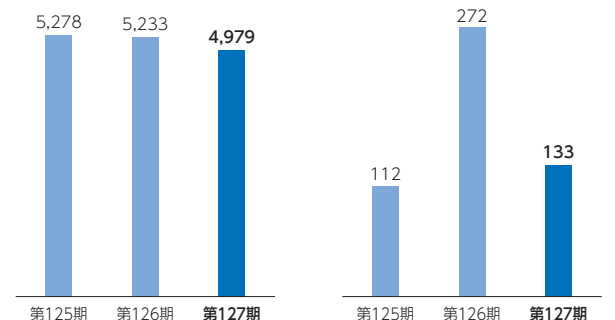


決算ハイライト

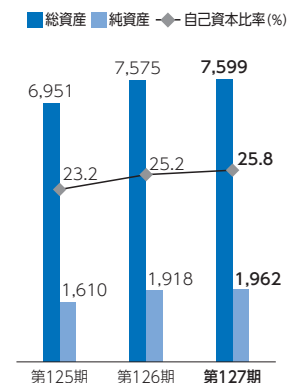
	第125期	第126期	第127期
売上高	(百万円) 5,278	5,233	4,979
当期純利益	(百万円) 112	272	133
1株当たり当期純利益	(円) 102.14	246.70	121.25
1株当たり純資産	(円) 1,457.32	1,736.64	1,776.39
総資産	(百万円) 6,951	7,575	7,599
純資産	(百万円) 1,610	1,918	1,962
自己資本比率	(%) 23.2	25.2	25.8

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。第125期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産を算定しております。

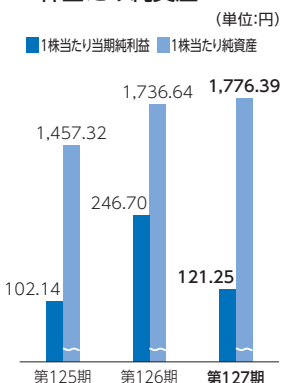
売上高 (単位:百万円) 当期純利益 (単位:百万円)



総資産・純資産・自己資本比率 (単位:百万円)



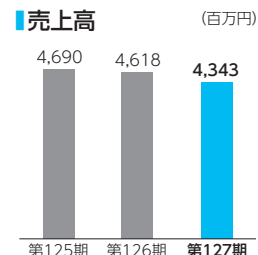
1株当たり当期純利益 1株当たり純資産 (単位:円)



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。第125期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産を算定しております。

セグメント別売上高

製造事業



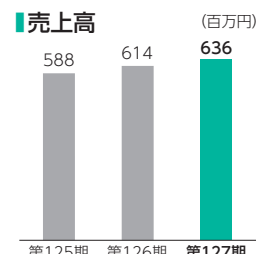
売上高 **43億4千3百万円** 構成比 **87.23%**

前々期・前期は、半導体やFPD（フラットパネルディスプレイ）の製造装置向けの真空ポンプへの堅調な需要の取り込みにより増収増益を確保してまいりました。当期において、半導体関連及び化学工業向けの真空ポンプは引き続き好調を維持しましたが、主に中国市場におけるFPD関連の新規増産設備の停滞と既存設備の稼働低下により製品及び部品売上が下期中盤以降大きく減少した結果、売上高は前年同期比274百万円減少の4,343百万円（前年同期比5.9%減）となりました。損益面におきましては、減収特に利益率の高い部品売上が減少したこと、長期滞在在庫（142百万円）を処分したこと等によりセグメント損失313百万円（前年同期はセグメント損失52百万円）となりました。

売上高を製品別に示しますと、真空ポンプは2,640百万円（前年同期比2.3%減）、送風機・圧縮機は592百万円（前年同期比9.4%増）、部品は687百万円（前年同期比23.7%減）、修理は420百万円（前年同期比9.0%減）の結果となりました。

また、輸出関係におきましては、スポット案件の影響が大きく、売上高は507百万円（前年同期比27.3%減）となりました。

不動産事業



売上高 **6億3千6百万円** 構成比 **12.77%**

オフィス市況の改善により、売上高は前年同期比3.5%増の636百万円となりましたが、20年周期の大型補修工事の影響でセグメント利益は前年同期比微増（0.5%増）の476百万円となりました。

単元未満株式の買取及び買増のご案内

買取請求制度

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却できる制度です。

株主様の100株未満株式 → 当社に市場価格で売却

(例) 50株を保有の場合、株式市場では売却することはできませんが、市場価格で当社が買取いたします。

買増請求制度

株式市場で売却できない100株未満の株式をご所有の場合、合わせて100株にするのに必要な株式を当社から市場価格で買取できる制度です。

株主様の100株未満株式 → + → 当社から市場価格で購入 100株

(例) 50株を保有の場合、50株を買い増して、100株とすることができます。

ご希望の株主様は、特別口座の口座管理機関または証券会社等に問合せください。